

# こんにちは 議会です!!



|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| • 新年度予算を審議 …………… 2 | • 総務常任委員会 …………… 8         |
| • 予算特別委員会 …………… 4  | • 産業建設常任委員会 …………… 10      |
| • 3月定例会 …………… 6    | • 町政を問う(9人が一般質問) …………… 12 |
| • 臨時会など …………… 7    | • 第6次多賀町総合計画 …………… 17     |
|                    | • 結のひと 結のまち …………… 18      |







| おもな予算項目             | (万円) |
|---------------------|------|
| (新) 放課後児童クラブ建設(繰越し) | 6362 |
| 〃 関連工事              | 964  |
| (新) 認定こども園建設(今年度)   | 7061 |
| 放課後児童クラブ送迎委託        | 90   |
| 小学校 修繕工事            | 1080 |
| 小中学校通学バス委託料         | 3380 |
| 外国語指導業務委託料(小中学校)    | 937  |
| 通級指導教室 運営費負担        | 68   |
| 給食材料費(小学校)          | 2200 |
| 給食調理運搬委託料(中学校)      | 3783 |
| (新) ほっとコミュニティ講座     | 198  |
| 社会体育施設指定管理料         | 3428 |
| あけぼのパーク修繕           | 230  |

## 教育・生涯学習

(学校教育費・社会教育費)



既存の学童保育

**問** 新たに放課後児童クラブを建設する理由は、国のコロナ対策で、子どもたちの密集をさける目的である。国の臨時交付金を活用する。多賀小学校敷地内に建設する。

**答** 新たな認定こども園を多賀幼稚園内に建設する理由と今後の予定は

**問** ほっとコミュニティ講座とは

**答** 生涯学習の様々な分野の専門家を講師に招き、教室を開く。今年度は13講座を予定している。



認定こども園へ

多賀幼稚園

**問** 新たな認定こども園を多賀幼稚園内に建設する理由と今後の予定は

**答** 住宅団地が増え、子どもの増加が見込まれる。待機児童を解消する目的である。また幼稚園舎の老朽化が著しく、幼児教育あり方検討委員会が、建替えの必要性を答申したため、今年度は用地購入と設計、進入路の改良。5年度開園をめざす。

## 福祉・健康づくり

(民生費・衛生費)

| おもな予算項目             | (万円)   |
|---------------------|--------|
| 各種がん健診委託料           | 1128   |
| インフルエンザ予防接種         | 839    |
| (新) がん患者サポート事業      | 2      |
| 不妊治療委託料             | 120    |
| 介護保険事業 繰出金          | 1億3868 |
| 長寿祝い金・祝い品           | 18     |
| 配食サービス委託料           | 243    |
| もんぜん亭指定管理料          | 325    |
| シルバー人材センター補助金       | 1000   |
| ふれあいの郷修繕工事          | 1650   |
| 福祉医療費               | 6200   |
| 児童手当                | 1億4505 |
| (新) 権利擁護サポートセンター負担金 | 187    |



医療用補正具

**問** がん患者サポート事業とは

**答** がんの治療後に、脱毛など外見の変化に対応するための、かつら、帽子、補正下着など医療用補正具の購入を助成する。

**問** 権利擁護サポートセンターとは

**答** 今年度から始まる彦根愛知犬上の共同事業で、認知症の高齢者が、悪徳商法の被害にあわないために、成年後見制度などで支援する仕組みである。

**問** ふれあいの郷修繕工事の内容は

**答** コロナ対策として、ワクチン接種の会場となる3階を中心に、老朽化した空調の修繕、地下駐車場のタイヤの修繕。

**問** 今年度の介護保険事業は

**答** 昨年度、第8期の介護保険計画を策定した。今年度から3年の計画である。地域づくり、見守り活動、認知症支援、生きがいづくり、介護予防など。

| おもな予算項目             | (万円) |
|---------------------|------|
| 都市公園の整備(用地、設計)      | 4500 |
| まちづくり活動支援交付金        | 1275 |
| 若者定住支援助成金           | 1070 |
| ふるさと納税寄付者への返礼       | 284  |
| 空き家解体除却補助金(5棟分)     | 250  |
| (新) 結婚新生活支援補助金(3件分) | 90   |
| 電子入札システム関連費用        | 136  |
| 福祉バス運行委託料           | 473  |
| 愛のりたくシー事業負担金        | 2978 |
| 路線バス運行補助金(2路線)      | 3100 |
| 総合計画の製本費            | 106  |

## 行政事務

(総務費・企画費)



都市公園予定地

**問** 都市公園の計画は

**答** 中央公民館の隣接地に1ヘクタールの農地を購入し、遊具や芝生のある都市公園を整備する。5年度完成予定。



**問** 電子入札とは

**答** 入札会場に行かなくても、インターネットで入札に参加できる仕組み。今年度から、建設と測量業務など一部で実施する。

**問** 結婚新生活支援の内容は

**答** 39歳以下の新婚世帯に生活資金の一部を補助する。(所得制限あり)

**問** 集落へのまちづくり活動支援交付金はどう変わるのか

**答** 一般交付金は、従来通り行事などに使える。(審査なし)

特別交付金は、事業内容や計画性などを重視し、審査がある。

## まちづくり

(商工費・農林水産費・土木費)

| おもな予算項目             | (万円)   |
|---------------------|--------|
| スマートインター上り線         | 1億3500 |
| 〃 下り線               | 3000   |
| 町道改良事業(甲頭倉、敏満寺、富之尾) | 1600   |
| 通学路安全対策(神田~岡山団地)    | 1000   |
| 里道改良(川相)            | 100    |
| 急傾斜崩壊対策測量調査(萱原)     | 2310   |
| 地籍調査(多賀、梨ノ木)        | 424    |
| 広域行政(斎場・燃えないごみ)     | 4117   |
| 〃 (燃えるごみ)           | 5048   |
| 農業機械購入補助            | 400    |
| 有害鳥獣駆除委託料           | 1250   |
| 林業再生計画事業            | 3000   |
| がんばる商店応援補助金         | 330    |
| 観光名所ライトアップ事業委託料     | 400    |



下り線進入路

**問** 今年度の主な事業は

**答** 今年度は、上り線は用地購入。下り線は、アクセス道路(進入路)工事。4年度の完成予定。



ソバ刈取機

**問** 農業機械購入の補助を始める理由は

**答** 機械購入は高額になるため、離農の原因にもなる。離農を防ぐために町内で一定の農地を守っている方を対象に補助する。(受託農地を含め2.5ヘクタール以上。上限200万円)

**問** 林業の再生計画事業は

**答** 木材の流通に必要な木材乾燥施設が完成した。今年度は、原木を貯留するための土場を町有地に整備し、仕分けに必要な重機(グラップル)を購入する。木材の製品化や、人材育成を協同組合に委託する。



# 新年度予算を審議 子育て支援・教育の充実と 元気な地域づくりに重点

新年度一般・特別会計  
予算・補正予算、条例  
改正・指定管理者・町  
道認定・購入契約を審  
議・可決しました  
選挙管理委員・補充員  
を選任しました

### ◎一般会計

48億 400万円  
自主財源 46・9%  
依存財源 53・1%

### 総務課所管

パート職員、嘱託職  
員から会計年度任用職  
員に変更になった。  
現在、採用人数は

任用職員は、保育園、  
子ども園、教育委員会  
関係が多く116名。

防災行政無線の予算  
がないが

機種選定については  
新製品も含め検討して  
いる。早期に考える。

### 会計室・議事事務局所管

議員年金給付費の負  
担金は

受給者は12名で年間  
約600万円、国への  
負担金は約900万円。

### 産業環境課所管

地域再生費3000  
万円の財源と事業内容  
は

森林関係事業に国、  
県から5割が交付され  
ている。

### 地域整備課所管

新年度予算の主なも  
の

スマートインター関  
係、町道改良4ヶ所、  
通学路整備1ヶ所、地  
籍調査、県事業12ヶ所  
の負担金。

### 企画課所管

総合計画、都市計画  
の印刷部数は

概要版を3500部、  
各家庭に配布。

### 税務住民課所管

町税が大きく減収予  
算の中、個人町民税

法人町民税は  
算出、コロナ関係で若  
干減収、法人も218  
社で減収。

### 福祉保健課所管

ワクチン接種の予定  
は

5月中旬。

### 教育委員会所管

工事の主なものは

多賀小学校のプール、  
火災報知機、大滝小学  
校電話設備、エアコン  
更新。

### 補正予算第13・第14号

8507万円(増)  
総額  
62億8499万円  
国の三次補正が主な項目

### 主な歳出

- ふれあいの郷改修費ほか 1931万円
- 高取山公園補助金ほか 2276万円
- 避難所への備蓄品ほか 863万円
- 地図情報システム構築 819万円
- 教育施設自動水栓化他 562万円
- 公共施設自動水栓化工事 387万円
- 基金繰り入れ 2120万円

### 繰越明許費

(次年度に繰り越す事業)  
感染拡大防止事業

- ワクチン接種事業 5184万円
- 公共施設・学校、自動水栓化・避難所の備蓄品・消毒液 4事業 1692万円
- 医療介護福祉事業所 従業員支援 875万円

### その他事業

- ふれあいの郷空調設備等改修 1831万円
  - 凍結防止剤散布車 2064万円
  - 放課後児童クラブ建設 6362万円
  - スマートインター整備 1億6195万円
  - 霜ヶ原高橋の法面補強 2010万円
  - ほか6事業 2362万円
- 総額 3億8575万円

### 第6次多賀町総合 計画の基本構想と 基本計画を可決した

(17ページ参照)

### 条例改正

●国民健康保険条例および国民健康保険条例の一部改正

新型インフルエンザ等  
対策特別措置法の改正で  
「新型コロナウイルス感  
染症」が追加されたため  
二つの条例を改正する。

●介護保険条例の一部改  
正

第8期保険料額の決定

期間は

3年度から  
5年度まで

保険料(基準額)

月額6100円  
(第7期と同じ)

●指定居宅サービス等の  
事業の人員、設備および  
運営に関する基準等の一  
部改正 4議案

省令で定めた基準を参  
考にして市町村が地域に  
あった条例を定めること  
とされているため、省令  
が改正され必要になった。

①指定地域密着型サービ  
スの事業の人員、設備  
および運営に関する基  
準を定める条例

②指定地域密着型介護予  
防サービスの事業の基  
準

③指定介護予防支援等の  
事業の基準

④指定居宅介護支援事業  
の基準

### 指定管理

●高取山ふれあい公園

委託先 大滝山林組合

期間は

3年度から  
5年度まで



高取山ふれあい公園

### 町道認定

●久徳地区

幅員6m、延長約80m。

(仮称)久徳認定こども  
園建築用道路、開園後  
は通園道路として活用。

道路が出来てから認  
定ではないのか

町道認定を先行すれ  
ば開発許可が早くなる。

### 臨時会 2月12日

補正予算(第12号)

1億3166万円(増)

### 主な歳入

- 国庫 9339万円
- 繰越金 715万円
- 町債 3030万円

### 主な歳出

- 衛生費 5332万円
- コロナワクチン接種事業 全額国庫支出金である
- 土木費 7337万円
- 凍結防止剤散布車 霜ヶ原高橋の法面補強
- 教育費 498万円
- 小・中学校コロナ対策 中学校設備更新

コロナワクチン接種  
対象者と対策は

4500人、接種率  
70%で算出。

推進チームで検討。  
「ふれあいの郷」で集  
団接種、医師、看護師、  
薬剤師を募集している。

### 購入契約

旧散布車は、導入後25  
年経過。部品がなくなっ  
て修理が出来ない。

●凍結防止剤散布車

契約金額

1980万円

契約者

近江八幡市上田町  
近江ユニキャリア販売(株)



(旧)散布車

### 選挙管理委員会補充員

霊正 芳信氏(大君ヶ畑)  
西村 政信氏(大杉)  
多賀 節子氏(木曾)  
大町千津子氏(敏満寺)  
以上8人を選任した。

### 新年度予算

●育英事業会計

362万円

●育英事業は、故土田

栄太郎氏から寄付され  
た1億円の基金から運  
営されている。現在の  
基金残高は

3977万円

当初は利息で運用できたが、  
低金利で基金を取り崩  
している。

●多賀財産区管理会計

14万円

●大滝財産区管理会計

123万円

●霊山財産区管理会計

13万円



条例2件、特別会計3件を審査しました

国民健康保険条例および国民健康保険条例の一部を改正する条例

今回の改正は

新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部が改正されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症の定義が盛り込まれた。

国の特別措置法の中でそういう定義がされている。

今まで付則で定義がなされていたので、それを国民健康保険条例と国民健康保険条例に引用。

介護保険条例の一部を改正する条例

今回の改正は

第8期高齢者福祉計画および介護保険事業画および介護保険事業計画の策定により、介護保険料に関する箇所に変更が生じたことと、税制改正および新型インフルエンザ等対策措置法の改正に伴うもの。

保険料基準額は

準備基金の取り崩しにより第7期と同様、基準額は月額6100円と据え置き、3年度から5年度まで適用する。



検診車

介護保険料の認定はどのように審議されているのか

年4回の会議を開催し、検討。内容は、介護保険制度が第8期にかかることについての最終目標の理念、本町の現在の状況、決算報告、人口の推移などをおこない、12月に素案を提示、1月にかけて意見を公募している。

基金の残高は

元年度末で5535万円。

在宅サービスと施設サービス給付費の増加割合は

在宅サービスは45%から41.5%に減少、施設サービスは33.6%から38.3%に増加する。

閉会中の調査

2/2

税務住民課所管の事務調査をしました

マイナンバーカード

は、昨年9月からのマイナンバー付与により、交付数が増加していると思われるが実績は

昨年12月末で人口18%にあたる1364人に交付された。

また、住民票や印鑑登録証明等のコンビニでの利用も年々増加傾向にある。

マイナンバー制度で、3年度より健康保険証として使用可能か

3年3月からオンラインで医療機関とつながります。

マイナンバーを保険証として使いますと本人が登録をして医療機関で受診した際、カ



マイナちゃん

ドをカードリーダーに差し込み保険証として利用可能。

今後、薬局なども普及が進んでいく予測。

個人町民税はいつから一律10%になっているのか。また所得税の最高税率は

平成19年分からは所得税の最高税率は現在45%、所得が4000万円以上の方。

2年度における課税状況は

土地が4893人、家屋が3589人。固定資産税の収入額は元年度において10億8200万円、収納率は99.8%。

償却資産で今後税収が見込めるところは

薬株、共栄社化学工業(株)が今後3年間ぐらいつまで見込める。

固定資産税の元年度の不能欠損額と人数は

52万4000円となつている。また57人のうち分納が14人。

国民健康保険特別会計予算を審査しました

予算総額は7億7903万円で前年比1979万円(3.7%減額)。

被保険者数と世帯数は

1580人、103世帯を見込んでいる。

一人当たりの保険税

3年1月末現在で、一人当たり金額9万8003円。3年度は9万4415円で予算計上している。

介護保険事業特別会計予算を審査しました

予算総額は8億9008万円で前年比1701万円(1.9%増額)。

介護保険料の65歳以上の第1号被保険者から徴収する保険納付者は、人数と総額は

前年度より14人多い2554人、1億8270万円。

要介護者もつと少なくなるような方法は

予防事業については、本町が先進的におこなっている状況で効果がでていると思う。



医療費が減少している原因はインフルエンザの減少やコロナの関係があるのか

新型コロナウイルスの影響もあり、受診を控えておられる可能性がある。

後期高齢者医療事業特別会計予算を審査しました

予算総額は1億1103万円で前年比61万8000円(0.6%減額)。

被保険者数は

1344人で前年度より24人減少。

医療費は前年度に比べ減少、

元年度の月平均は9800万円、2年度は月平均9300万円。

国民健康保険事業

国民健康保険は平成30年度から県が財政運営の主体となり、町は住民の窓口として資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課徴収が主業務との説明がされた。

加入世帯と加入人数

世帯は1006世帯、1575人。

県下一律の税率になるのはいつ頃か

6年度以降早い時期となつている。

保険税の納付は

年間10回あり、所得割の税率は医療分が6.27%、後期高齢者支援金が2.55%、介護保険分が2.07%となり、その他均等割・平等割がある。最高限度額は99万円。

税の軽減は

7割・5割・2割の軽減がある。

人間ドックの補助金

かかった費用の2分の1で上限2万円。

高額療養費は

医療費が高額になりそうな場合、限度額認定証を役場で発行してもらい、医療機関に提出するが、同月中に複数の科を受診した場合も、限度額までしか請求されないのか。

一つの総合病院の中では、限度額認定証の提示で、限度額までの請求がされます。

他の医療機関との場合は、医療機関ごとに限度額までのみ請求がされます。

仮に予定通り改正されると対象者はどれくらいか

広域連合に試算をしていただきたいと要望しており、市町ごとにどれくらい影響が出るか精査中。

後期高齢者医療事業

国が考えている医療費の自己負担割合は

住民税の課税所得が28万円以上かつ、収入が200万円以上の方は2割負担の予定。





# 産業建設常任委員会

3/11

**新年度予算4件・補正予算2件・町道認定1件を審査しました**  
**第6次総合計画は総務委員会と連合審査をしました**

**びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理会計**



工業団地街路灯

**歳入**  
 基金繰入金 629万円  
 繰越金等 59万円

**歳出**  
 事業費 688万円

**主な質疑**

**問** 事業の経緯は

**答** 企業と町で出資し基金で環境整備している。

**問** 基金の残高は

**答** 3億3585万円。

**問** 街路灯のLED化は

**答** 三和シャッター前を除き全て取り替える。

**農業集落排水事業会計**

**歳入**  
 使用料 531万円  
 県補助金 657万円  
 一般会計繰入金

**歳出**  
 管理費 1475万円  
 光熱水費・維持管理費 2583万円  
 起債償還、利息 2892万円

**資本的収入**  
 企業債 3000万円  
 工事負担金 285万円

**資本的支出**  
 工事代金 9520万円  
 企業債、利息償還 1億737万円

**主な質疑**  
**問** 使用料が伸びない。将来的にこの事業をどうするのか  
**答** 今後も維持したいと考えている。

**水道事業会計**

**収益的収入**  
 3億8500万円

**使用料**  
 2億6965万円

**一般会計繰入金ほか**  
 1億1535万円

**収益的支出**  
 原水、浄水、送配水 2億7632万円

**企業債・元利・消費税**  
 4687万円

**資本的収入**  
 企業債 3000万円  
 工事負担金 285万円

**資本的支出**  
 工事代金 9520万円  
 企業債、利息償還 1億737万円

**主な質疑**  
**問** 給水収益は減額予算である。さらなる減額になるのか  
**答** 団地の造成などで加金を営業外収益で見ているが造成されても建築されなければ増加しない。

**下水道事業会計**

**収益的収入**  
 使用料 2億4370万円  
 一般会計繰入金 1億5309万円

**収益的支出**  
 流域下水負担金・減価償却 3億4039万円  
 企業債償還・消費税 4796万円

**資本的収入**  
 企業債 8940万円  
 一般会計繰入金 4845万円

**資本的支出**  
 流域下水道建設負担金 2053万円  
 工事代金 5833万円  
 企業債・利息償還 2億3086万円

**主な質疑**  
**問** 管渠整備事業の内容は  
**答** 藤瀬地区の雨水排水事業の最終年度の予算。

**問** 測量設計委託料は何処の地区か  
**答** 中川原地区の雨水排水設備である。



中川原地区

**町道認定**

久徳地区  
 (仮称)久徳認定こども園の通園道路、幅員6m、延長約80m。

**物品購入契約**

凍結防止剤散布車  
 契約先 1980万円  
 近江ユニキャリア販売(株)

## 閉会中の調査

**公共交通利用促進会議の経過**

委員の任命 6人

- 北川 久二氏(久徳)
- 西河 伸市氏(佐目)
- 小林 元嗣氏(樋田)
- 豊原 佳子氏(南後谷)
- 早坂由紀子氏(多賀)
- 小菅 綾子氏(敏満寺)

**里づくり魅力化プロジェクト会議の経過**

平成28年に多賀(大滝)里づくりプロジェクトアクションプランを策定、移住交流促進施策を実施した。2年にプランが終了、8月にプロジェクト立ち上げ地域の方と検討している。

**キラリまちづくり交付金の改定の経緯**

平成26年度から交付してきた。各集落ともハード面は整備され、6年が過ぎたために見直し。一般交付金は従来通り、特別交付金は提案型交付金にしたい。秋の区長会にて説明をしてきた。

**提案型事業の対象例**

- 各集落の法人化の経費
  - 防犯、防災対策
  - 子ども子育て対策
  - 高齢者対策
  - 障がい者対策
  - 引きこもり対策
  - 空き家空き地対策
  - 公共交通対策
  - 文化継承活動
  - 集落の賑わいにつながる施策
- (新たな企画、イベント集落カフェ、集落特産品の開発など)

**会議の開催**  
 2年6月、10月、12月  
 10月から各集落において意見交換会を計画したがコロナ禍のなかでできなかった。  
 3年度は社会福祉協議会、民生委員さんの協力をいただき聞き取り調査を継続する。  
**聞き取り、アンケート調査の結果、愛のりタクシの利用者は3割を切っているため、今後の課題である。**

**委員**  
 学識経験者4人  
 地域代表 15人  
**会議の開催**  
 3年1月まで6回  
 ビジョンづくり、勉強会、視察研修・交流、集落受け入れ体制の構築をおこなう。  
 4年度から滋賀県立大学の卒業生を「地域おこし協力隊」として活動してもらう。

委員会報告

委員会報告



県東北部浄化センター(彦根市松原町)

**水道事業会計 2年度補正予算(第2号)**

**収益的収入**  
 使用料 1253万円(減)

**総額**  
 3億78876万円

**収益的支出**

固定資産除却費

消費税 1300万円(減)

**総額**  
 3億2446万円

**下水道事業会計 2年度補正予算(第3号)**

**収益的収入**  
 使用料 1949万円(減)

**一般会計繰入金**  
 1086万円(減)

**総額**  
 4億3297万円

**収益的支出**

減価償却費

流域下水負担金 636万円(増)

**総額**  
 489万円(減)

**資本的収入**

企業債 140万円(減)  
 一般会計繰入金 173万円(減)

**総額**  
 1億3577万円

**資本的支出**

流域下水道建設負担金 142万円(減)

企業債償還金 196万円(減)

**総額**  
 2億6111万円

- 基本計画**
- 子どもの育ちと子育て
  - 生涯学習・協働
  - 安全・安心・健康
  - 環境・コミュニケーション
  - まちの活力
  - 都市基盤・住環境
  - 行財政



# 3月定例会 9人が一般質問 町政を問う

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

| 質問事項  | ページ |
|---|-----|
| ■ 松居 亘 <small>まつ い わたる</small> ..... 13<br>◎(仮称)結いの森公園整備事業は                               | 13  |
| ■ 富永 勉 <small>とみなが つとむ</small> ..... 13<br>◎公共交通のあり方は<br>◎スマートインターチェンジの進捗状況は              | 13  |
| ■ 近藤 勇 <small>こん どう いさむ</small> ..... 14<br>◎電柵・サル被害の対策は<br>◎危機管理体制は                      | 14  |
| ■ 神細工 宗宏 <small>かみざいく むねひろ</small> ..... 14<br>◎命を大切にする人を育む「木育」を                          | 14  |
| ■ 山口 久男 <small>やまぐち ひさお</small> ..... 15<br>◎新年度の町財政は<br>○幼児教育、保育は<br>○国民健康保険税は<br>○ごみ問題は | 15  |
| ■ 木下 茂樹 <small>きのした しげき</small> ..... 15<br>◎農業後継者育成助成は<br>◎幹線町道の改修と点検状況は                 | 15  |
| ■ 菅森 照雄 <small>すがもり てるお</small> ..... 16<br>◎ワクチンの予防接種は                                   | 16  |
| ■ 川添 武史 <small>かわぞえ たけし</small> ..... 16<br>◎新年度の予算編成は<br>◎新型コロナウイルス感染症対策は                | 16  |
| ■ 清水 登久子 <small>しみず とくこ</small> ..... 17<br>◎ひとり暮らしへの支援は                                  | 17  |

(注)○印の内容は掲載しておりません。

## (仮称)結いの森公園整備事業は 4年度中に着工予定



まつ い わたる  
松居 亘

### 企画課長

◎①都市計画決定の手続きをせず、設置及び管理に関する条例を定め都市公園(近隣公園)として位置付ける。  
◎②策定作業の終盤となる都市計画マスタープランにおいて公園整備の予定についての追記をする。  
◎③総事業費は概算で一億五千万円の見積り。  
都市再生整備計画事業



公園予定地(結いの森駐車場隣接地)

◎④今後の工程は  
◎⑤住民の意見はどのように取り上げていくのか、公園のあり方検討会の設置は  
◎⑥ユニバーサルデザインの取り組みは  
◎⑦子どもが環境学習できる場所づくりは

◎⑧他の施設の活用状況も含め総合的に検討する。  
◎⑨あり方検討委員会を設置を予定。  
◎⑩庁舎内の検討チームでも必要性があると考えている。

### 生涯学習課長

◎⑪効果促進事業として採択を受け、40%の交付率で国の助成を受ける予定。  
◎⑫他の事業との調整を図りながら、4年度中には工事着手予定。



とみなが つとむ  
富永 勉

### 質問1

## 公共交通のあり方は 促進会議で検討中

◎①個別の聞き取り調査の対象者は、聞き取りを終える時期は  
◎②愛のリタクシーの普及、啓発の方法は  
◎③里づくり魅力化プロジェクト会議で委員から「法人を設立し移送サービス、買い物支援ができるようにしたい」と発言があったが町としての見解は  
◎④今後の公共交通促進会議での議論、検討内容は

◎⑤まずは一度利用してもらうこと。また、もっと便利に活用する取り組みを検討したい。  
◎⑥誰が、いつから、何を目的にどのように進め、継続していくのか具体的に検討されれば町としての関与を考えたい。  
◎⑦公共交通の果たすべき役割として、鉄道、バス、デマンドタクシーなどをどのようにバランス良く運行させるのか議論していく。

### 質問2

## スマートインター チェンジの進捗状況は

◎①3年度の事業は  
◎②地区協議会との調整は  
◎③上り線側は用地開連業務を順次発注し事業に着手。年度末には用地購入を予定している。  
◎④下り線側は町道四ツ屋胡宮線の道路工事を順次進める。

### 企画課長

◎⑤3年度中には3回目の地区協議会を開催し当初計画からの変更箇所や、スマートインターチェンジの名称などにつき協議したい。



利便性の向上を

愛のリタクシー





## 電柵・サル被害の対策は 啓発活動を続ける

近藤 勇

**問** ①集落獣害自衛組織育成補助金での支援をおこなっているが活動内容と効果は  
②爆竹、ロケット花火は一時しのぎ、ほかの効果的な支援の考えは  
③日常的にサルの追い払いをする組織の立ち上げの考えは

産業環境課長

**答** ①補助金の内容は防柵の補修や柵周辺の草刈りに係る経費、電気柵の電気代、獣害防止柵の破損時の保険代、会議の経費、狩猟免許の更新に係る費用。  
効果は獣害防止柵の維持管理が適正になされ被害が止められ、行政頼みではなく、自分たちの集

落は自らが守る「自衛対策」をするという面で大きな効果がある。  
②サルの群れの個体数調整、研修会の開催、獣害対策便りの定期的な発行などで啓発活動を出発するところからする。  
③有志による自衛組織を立ち上げる機運を高めることが重要と考える。

④安定ヨウ素剤の教育施設への配布状況は、  
全家庭への事前配布は

**町長**  
**答** ①有線放送や登録メール、ホームページ記載など最も有効な情報手段を選択し発信している。  
②作成されている。  
③出水期までに実施したい。

### 危機管理体制は

**問** ①新型コロナウイルス感染症対策の啓発は、有線放送だけでなく、他の手段の考えは  
②感染した人の生活支援や、総合的な行動方針、マニュアルの作成は

③2月末現在で、全税目別期で19件、法人6社からの申請があり、119万円の徴収猶予をおこなっている。  
④3年度、各校・園へ配布予定。  
各家庭への事前配布は今のところ考えていない。

## 新年度の町財政は 起債・基金の繰入れで財源確保



山口 久男

**問** ①コロナ禍の前年度の税収は  
②国の減収補填の対象となる税目は  
③町税を猶予した金額は  
④水道事業においての減収の見込みは  
⑤税収減と減収補填債は  
⑥新年度予算においては、地方交付税、臨時財政対策債が増額となっている。必要な財源の確保は

### 総務課長

**答** ①前年度当初予算額に対し約4860万円の減、17億9400万円程度を見込んでいる。  
②軽減措置に係る減額分は、家屋2594万円、償却資産2625万円を見込んでおり、合計5219万円は、新型コロナウイルス感染対策地方税減収補填特別交付金で全額補填される。

③2月末現在で、全税目別期で19件、法人6社からの申請があり、119万円の徴収猶予をおこなっている。  
④3年度、各校・園へ配布予定。  
各家庭への事前配布は今のところ考えていない。

### 地域整備課長

**答** ④前年比約95%、1300万円余りの減収見込み。

### 総務課長

⑤補填対象の税目となる地方消費税交付金817万円、市町村たばこ税670万円、地方揮発油譲与税241万円、総額1728万円の減収を見込み、同額の補填債を計上。  
⑥前年度から地方交付税9100万円増額の10億円。

臨時財政対策債1億3500万円増額の3億円を計上。  
財政調整基金から1億5000万円を繰入れ、財源を確保した。



## 命を大切にすることを育む「木育」を 推進を図りたい

神細工 宗宏

**問** ①感性と想像力を高め、命を大切にすることを育む「木育」を、幼児期から中学校まで一貫しておこなう考えは  
②「木育」を通じて、山林・森林に興味を持ち、本町の将来を見据えた、山で働く人材の育成は

### 教育長

**答** ①幼児期から木に触れることで、心身を健やかに保ち、思いやり・やさしさや児童や学生に良い影響を数多く与えることは理解しており、第6次多賀町総合計画には、「木育」の取り組みを掲げている。関係各課や関係機関とも連携し、「木育」の推進を図りたい。

### 産業環境課長

**答** ②町の森林を守るためには、今よりも「山で働く人」が必要で、現在の林業従事者は高齢者が多いため、若者の新規参入促進と合わせて技術者

の育成が不可欠。しかし、現在は森林の大切さが理解され、林業に対するイメージも変わり、山で働きたい若者も増えつつある。  
今後も「木育」への取り組みを継続することにより、山を守り、多賀を愛する、山で働きたい人材を育てていきたい。



## 農業後継者育成助成は 年間150万円を2年間交付

木下 茂樹

**問** ①県立農業大学校授業料への補助は  
②大型農業機械免許取得への補助は  
③担い手、営農組合、農事組合法人の若年者育成対策は

③農業関係者以外の方にも、農業に関心を持ってもらうために、小規模農地を貸出しのできる市民農園制度の創設や、生涯学習課との連携による農業に関する講座の開催なども検討し、農業後継者の発掘に取り組みたい。

### 質問2

### 幹線町道の改修と点検状況は

**問** ①幹線町道の修復、舗装、白線計画は  
②国道306号線と幹線町道2路線の合流交差点の信号設置は

### 地域整備課長

**答** ①必要な町道の舗装

補修事業を平成27年度より国の交付金を受け、継続的に進めている。  
町道敏満寺高宮線の1900m区間が3年度に完了する予定で、補修計画路線も、既に2路線は補修設計を済ませ、順次着工していく。  
②平成27年12月28日付で警察庁にて制定された信号機設置の指針で、全国的な信号機設置の基準を示され、その条件を満たさない箇所への設置が不可能となっただけでなく、既設の信号機についても基準を満たさない箇所は撤去を検討することも明記されているが、引き続き信号機設置を要望していく。





すがもり てるお  
菅森 照雄

## ワクチンの予防接種は 安全・安心の体制を確保

**問** ①接種に当たる医師4名、看護師8名は確保できているのか

②個人の健康を把握されている開業医、かかりつけ医の医療機関での個別接種も考えているのか、本町は集団接種のみか

③一概に65歳以上といっても、中には100歳以上の方もおられる。ワクチン接種の優先度はあるのか

④高齢者世帯、ひとり暮らしなど、移動手段のない方の送迎、支援は⑤ワクチンの接種率は6割から7割で効果があると言われているが、本町での接種に対する取り組みは

**福祉保健課長**

**答** ①彦根医師会への協力をお願いし、地元医師会の先生を中心に4名の医師確保ができ、看護師についても、8名以上の確保ができています。

②町内の医療機関で個別接種を実施するのは困難であり、医療機関の協力も得られる状況では無く、現時点での個別接種は考えていない。

③現時点では65歳以上の高齢者については年齢での優先度を設けることは考えていない。

④家族の支援が得られるように、土・日曜日にも接種日設ける予定で準備を進めている。

対応が無理な場合には、

原則、愛のりタクシーで来場をお願いしたい。

⑤予防接種法付則第7条2項の規定により、原則接種については努力義務の規定が適用され、本人の判断となる。

安全・安心に接種が受けられる体制を準備し、ワクチン接種の勧奨に努めたい。



## ひとり暮らしへの支援は 見守り体制を構築する

しみず とくこ  
清水 登久子



**福祉保健課長**

**答** ①3年1月1日現在、全体で男229人、女260人、合計489人、65歳以上は男128人、女232人。

②高齢者のみの世帯数は同じ時点で428世帯、全世帯数の15%。

③ひとり暮らしの高齢者については、地域の民生委員や社会福祉協議会および地域包括支援センタ

**問** ①本町で「ひとり暮らし」をされている人数と65歳以上の男女別人数は

②高齢者のみの世帯は③身体が自由な人、また認知症を患っている人などの把握状況は

④中には、他の人との関わりを嫌う人もいますが、町の考えは

⑤心配ごとの相談窓口は⑥本町でも、過去に孤独死した方が何人かいます。そのような事態を避けるための取り組みは

①の職員が、見守りや安否確認を目的に定期的に訪問し状況把握している。

④普段は近所の人や地域の人に見守ってもらい、支援が必要となったら、行政がすぐ動ける体制が重要。

⑤毎月、定期的開催される心配ごと相談や福祉サービス関係の相談は随時、福祉保健課、社会福祉協議会でおこなっている。

⑥実情に応じた見守り体制の構築が重要。



社会福祉協議会

**質問1**

## 新年度の予算編成は 地方債を財源にあてる



かわそえ たけし  
川添 武史

**問** スマートインター、認定子ども園、都市公園など大きな事業が目白押しであるが、防災行政無線設備の予算はない。

**問** 新年度予算にコロナ関係の予算が全然含まれていない。

**副町長**

**答** 地方財政は、地方自治法でその年度の歳入をもって予算とする規定、地方財政法においては原則、地方債以外の歳入をもってその財源としなければならぬと規定していることから、毎年、地方財政対策により歳入の根幹をなす地方税の動向、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税の額について、地方財政指標が示される。これらの指標に基づき予算を編成しなければならず、地方債をもって財源に充てる場合についても、地方財政法において用途について制限をしている。

**問** 新年度予算にコロナ関係の予算が全然含まれていない。

**町長**

**答** 新年度も、町内事業者の状況把握を商工会とともに努め、国・県の支援制度を注視しながら、速やかに対応できるように本町としても努めたい。



多賀町商工会

**第6次多賀町総合計画**

総合計画は10年後の多賀町を見据え、まちがめざす将来像を明らかにし、その将来像を実現するための方向性を示すものである。

本町は昭和44年に第1次計画を策定し3年から6次の計画になる。

- 本総合計画は
- ・10年間の基本構想
- ・5年間の前期基本計画
- ・3年間の実施計画
- ・5年後の後期基本計画を策定する。

**まちの将来像は**

**輝く人、自然**

**歴史・文化で織りなす**

**多賀の未来**

子ども、若者から高齢者まで温かなつながりのもと、子どもたちが元気、希望をもって育ち、誰もが笑顔で暮らせるまち。



元氣と希望をもって

**前期基本計画では**

国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」17のゴールと本総合計画の7分野37項目を一体的に推進する。

**◎主な質疑**

**問** ひとつづきを主眼に置いたわけは

**答** 効果的なまちづくりを実現するためには、まちづくりを担うひとつづきが不可欠です。今後、ひとつづきを意識した施策を展開していく。

**問** なぜ人口を7300人としたのか

**答** 第5次の予想は8000人であった、現在人口は7600人、新築住宅も前期ほど望めない。

**問** どのように計画を検証していくのか

**答** 行政改革推進委員会を設置し、計画の進捗管理をおこなっていく。



# 結のひと結のまち

第4回

## 「歌うことで健康に」

### 多賀カラオケ愛好会

#### 発足は

今年で21年目を迎えております。結成当時は「生涯カラオケ教室」と呼んでおり、会員数は30数名いたと聞いています。

#### 現在は

10名ほどで活動しています。

歌謡曲が好きな仲間が「日本音楽著作権会員」の先生を講師として招き日々練習しています。みんな仲良く、和気あいあいと歌の練習に励んでいます。



多賀町中央公民館「多賀結いの森」にて、月に一回、第一土曜日に約2時間練習に励んでいます。歌は、課題曲、自由曲を習っており、男性曲、女性曲が入れ替わってもキー（音程）調整で、案外うまく歌えるものです。

#### 発表会は

年に数回おこなわれ、日ごろの練習の成果と、私たちの活動を知っていただける大切な機会です。しかし、昨年からの新型コロナウイルス感染症の大流行により、発表会がことごとく中止となり残念な年でありました。

今年には発表会が開催できることを願って、練習には、感染対策をおこないながら、みんなで頑張っています。

#### 歌うことの魅力は

お腹の底から声を出しますので、お腹の筋肉体操にもなります。声を出すことで、リフレッシュし、仲間とともに活動できることが健康にも繋がっていると思います。

#### メンバー募集中!!

一緒に活動して下さるメンバーを募集しています。見学からでも結構です。

ご興味のある方は、中央公民館「生涯学習課」までお願い申し上げます。

代表者  
蓮井 邦雄 記



## 編集後記

新型コロナウイルスの「第4波」により、県内も感染者が増加してきました。感染拡大を防ぐために、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いの順守など「3密」を避ける新しい生活様式

が求められています。近畿2府4県でも感染者が急速に拡大している。変異株の拡散を防ぐため、不要不急の外出や移動を避け、5月中旬からのワクチン接種に努めていきましょう。

大橋 富造 記

## 議会を傍聴してみませんか？

議員や町は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。ぜひお越しください。

### 6月定例会の予定

- 6月 4日(金) | 9:30~ 開会・審議  
・町長が町政報告と議案提案を行う。
- 6月 7日(月) | 9:30~ 一般質問  
・議員が町政について質問します。
- 6月21日(月) | 13:30~ 採決・閉会  
・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。  
議会事務局 ☎48-8126  
(有線) 2-2011



※座席は21席あります。

発行 / 多賀町議会  
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
☎ 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131  
有線 2-2011

ホームページ <https://www.town.taga.lg.jp/>